

日本医師連盟 医政活動研究会

参議院選挙結果と
医政活動の重要性について

令和元年11月24日

日本医師連盟 副委員長

今村 聡

目次

- 1 参議院比例代表(全国比例区)選挙
- 2 日本医師連盟の活動

1. 参議院比例代表(全国比例区)選挙

2016年7月の参議院比例代表選挙に候補者を 擁立した主な医療介護関係団体と候補者名 当落

・日本医師会	当	自見はなこ
・日本歯科医師会	当	山田宏
・日本薬剤師会	当	藤井基之
・日本看護協会	当	高階恵美子
・日本衛生検査所協会	当	宮島善文
・日本理学療法士協会	当	小川克巳
・日本放射線技師会	落	畦元将吾

2019年7月の参議院比例代表選挙に候補者を 擁立した主な医療介護関係団体と候補者名 当落

・日本医師会	当	羽生田俊
・日本歯科医師会	落	比嘉奈津美
・日本薬剤師会	当	本田顕子
・日本看護協会	当	石田昌宏
・日本衛生検査所協会	落	小川真史
・日本理学療法士協会	落	田中昌史
・全国老人保健施設協会	落	山本左近
・全国老人福祉施設協議会	落	角田充由

赤字の2団体→今回は候補者を擁立しなかった団体

2019年 参議院比例代表選挙主な社会保障関係者

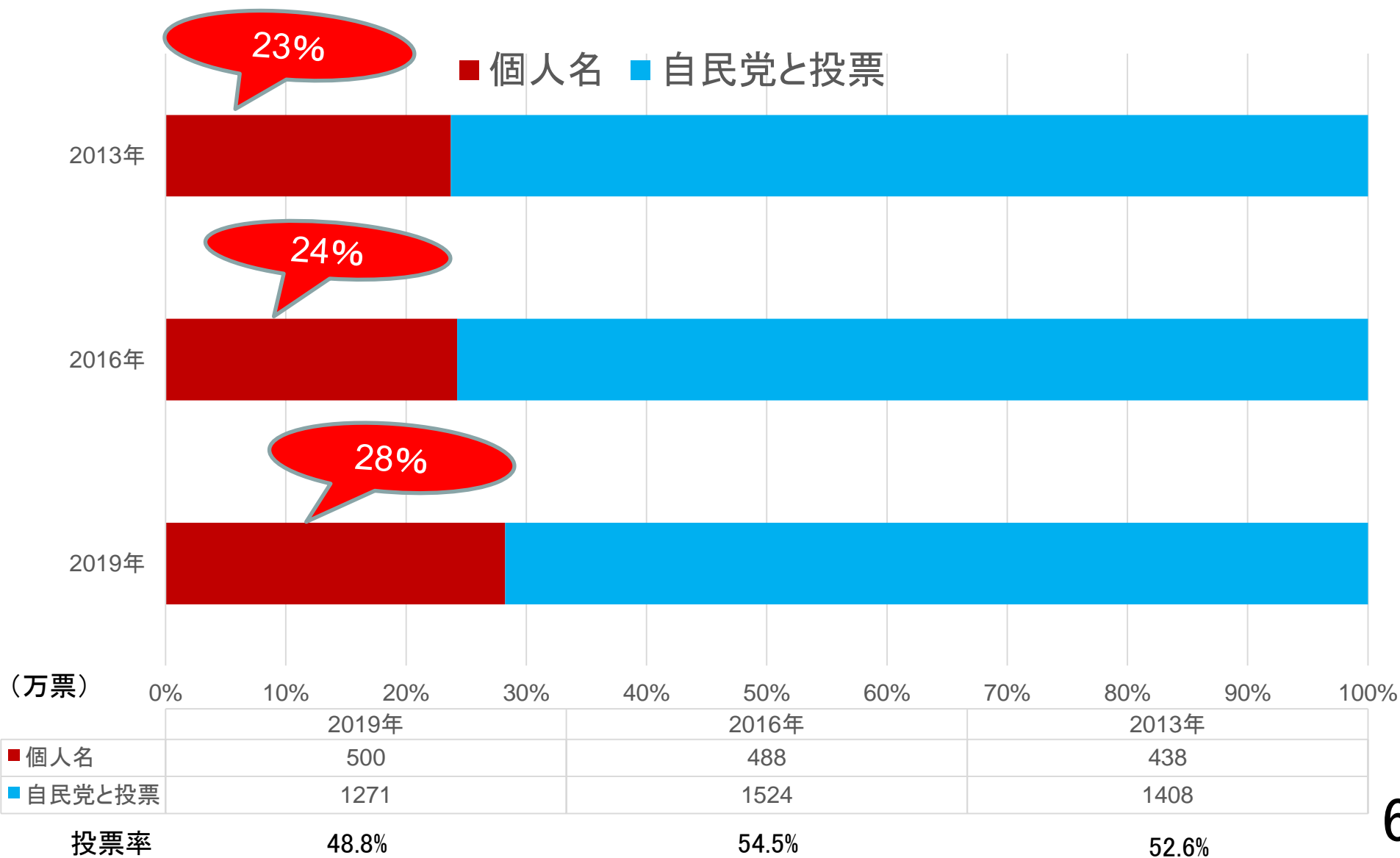
順位	当落	政党名	氏名		役職等	得票数
12	当	自民党	石田 昌宏	現	元日本看護連盟幹事長	189,893
14	当	自民党	本田 顕子	新	日本薬剤師連盟副会長	159,596
15	当	自民党	衛藤 晟一	現	総理大臣補佐官	154,578
16	当	自民党	羽生田 俊	現	元日本医師会副会長	152,807
20	落	自民党	比嘉 奈津美	新	日本歯科医師連盟顧問	114,596
22	落	自民党	田中 昌史	新	日本理学療法士協会理事	100,005
24	落	自民党	木村 義雄	現	元厚生労働副大臣	92,419
26	落	自民党	小川 眞史	新	日本衛生検査所協会理事	85,268
27	落	自民党	山本 左近	新	全国老人保健施設連盟	78,236
28	落	自民党	角田 充由	新	全国老人福祉施設協議会理事	75,241

候補者10名で120万票を超えた

それぞれの団体に120万票の奪いがかかっている

集票活動に広がりを！ いかに、患者さんに働きかけるかが今後のカギ

参议院比例代表 個人名と政党名での投票比較(自民党)



2013年 参議院議員選挙 比例代表順位(抜粋)

順	政党	氏名	役職		得票数
1	自民党	柘植 芳文	新	郵政	429,002
2	自民党	山田 俊男	現	農協	338,485
4	自民党	石井 みどり	現	日本歯科医師連盟	294,148
6	自民党	羽生田 俊	新	日本医師連盟	249,818
10	自民党	衛藤 晟一	現	首相補佐官	204,404
11	自民党	石田 昌宏	新	看護連盟	201,109

2016年 参議院議員選挙 比例代表順位(抜粋)

順	政党	氏名	役職		得票数
1	自民党	徳茂 雅之	新	郵政	521,060
3	自民党	片山 さつき	現		393,382
6	自民党	足立 敏之	新	元国土交通省技監	293,735
8	自民党	藤木 眞也	新	農協	236,119
9	自民党	自見はなこ	新	日本医師連盟	210,562
11	自民党	高階恵美子	現	看護連盟	177,810

2019年 参議院議員選挙 比例代表順位(抜粋)

順	政党	氏名	役職		得票数
1	自民党	柘植 芳文	現	郵政	600,189
2	自民党	山田 太郎	新	インターネット選挙	539,566
7	自民党	山田 俊男	現	農協	217,619
10	自民党	石田 昌宏	現	看護連盟	189,893
12	自民党	本田 顕子	新	薬剤師連盟	159,596
14	自民党	羽生田 俊	現	日本医師連盟	152,807

※特定枠2名除く順位

ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険の限度額引き上げ

★ゆうちょ銀行の預入限度額及びかんぽ生命保険の加入限度額は、郵政民営化法施行令において上限が設定されている

【2016年4月より 限度額引き上げ】

さらに 2019年4月

・ゆうちょ銀行 1千万円→1千3百万円 → 2千6百万円に増額 (^_^)
・かんぽ生命 1千万円(加入後4年以上:1千3百万円)→1千万円(加入後4年以上:2千万円)

ゆうちょ銀行の限度額の引上げを巡る動き

自民党 郵政事業に関する特命委員会

○「郵政事業のあり方に関する提言」の速やかな実行を求める要望書(2017年6月20日)(抜粋)

ゆうちょの限度額については、1000万円から1300万円に引き上げられたが、提言(=2015年6月26日の提言:「限度額を2015年9月に2000万円、2017年までに3000万円 さらに近い将来株式売却の進展状況に応じて限度額を完全に撤廃すべき」との提言)に沿った十分な引き上げが行われたとは言えない。(中略) 提言通りの引上げや、通常貯金を限度額の管理対象から除外する等の規制緩和を実施するよう、所要の措置を講じるべきである。

自民党政権公約 2017

○政策BANK(2017年10月2日(抜粋))

郵便局網を活かして地域との協調・連携を促進するとともに、日本型郵便インフラシステムの国際展開を支援します。ユニバーサルサービスを確保するとともに、資金シフトの状況等も勘案しつつ、ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険の限度額のさらなる見直しを検討します。

参議院 比例代表(全国比例区)の開票について

- 各市区町村単位で開票し、都道府県選管→総務省選管が取りまとめる。
- 各候補者の得票数は、全国すべての市区町村別にすべて公表される。



衆議院議員をはじめ、県議、市区町村議、知事市区町村長は、それぞれの候補者の団体が、どの程度票を出せるか(票があるか)を簡単に知ることができる・・・(ということとは??)

2019年 参議院全国比例区 医療介護関係の主な候補者の市区町村別得票数(例)

	当選		当選		当選		当選		落選		落選		落選	
	石田昌宏 (看護師)	順位	本田顕子 (薬剤師)	順位	衛藤晟一 (障害者団体他)	順位	羽生田 俊 (医師)	順位	比嘉奈津美 (歯科医師)	順位	田中昌史 (理学療法士)	順位	山本左近 (老人保健施設)	順位
A区	157	6	260	3	266	2	182	5	205	4	324	1	96	7
B市	630	2	446	3	325	4	4,545	1	279	5	227	6	176	8
C区	680	5	834	4	1,067	2	1,193	1	1,003	3	326	7	653	6
D町	5	4	5	4	18	2	0	7	5	4	23	1	7	3
E市	341	5	650	1	164	6	389	4	395	3	395	2	150	7
F市	73	2	43	6	61	5	70	3	1,021	1	65	4	17	7

※順位は表の7名のなかでの順位

得票数「0」の市町村数

● 医師連盟(羽生田候補)

➡ 188 ※得票数0の市町村数188は自民党候補者で最多
前回 2016年「147」 2013年「115」

● 看護連盟(石田候補)

➡ 58

● 薬剤師連盟(本田候補)

➡ 128

● 郵便局(柘植候補) 全国1位の得票

➡ 0 前回2016年も「0」 2013年に「1」(沖縄県大宜味村)

★得票数「0」の市町村が多いのが医療系候補の特徴。

特に医師連盟候補は「0」の市町村が多い。

⇒得票数「0」市町村数を減らしていく取り組みが必要。

得票傾向

●医師連盟(羽生田候補)



群馬県(出身地)、福岡県で圧倒的1位の得票。2位~4位 0県
5位~10位14県。11位~20位27県 21位~4県
※特定の県(群馬・福岡)で票を獲得、一方得票順位19位以下の県が9県

●看護連盟(石田候補)



奈良県(出身地)6位 出身県での得票はあまり多くない。
1位の県は0県 岡山、長崎、福井で2位 3位~10位31県、11位~17位13県
※18位以下の県0

●薬剤師連盟(本田候補)



熊本県(出身地)で2位(1位は郵便局の柘植氏)の得票
1位の県は0県 2位~10位 23県 11位~18位24県
※19位以下の県0

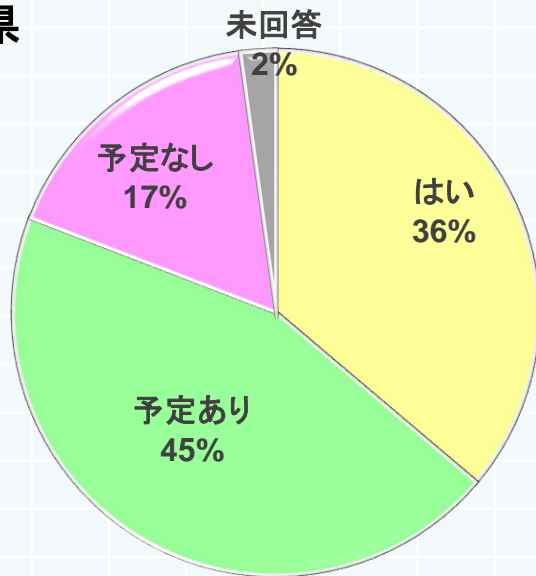
- ①医師連盟は特定の県で得票を得たが、全国的にみると得票には偏りがある。
 - ②看護・薬剤師連盟は、全国である程度満遍なく得票している。
- ⇒全国的な組織選挙の展開は、看護・薬剤連盟より活動が出来なかつと推察。

今後に向けて

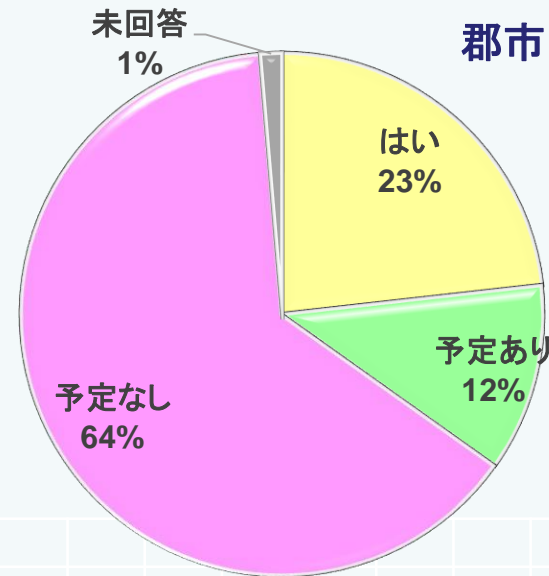
アンケート結果（抜粋）

- ◆ 参議院選挙後、都道府県、郡市区医師連盟では羽生田選挙の結果について検証するような会議を行いましたか？

都道府県



郡市区



それぞれの郡市区医師連盟で、今回の選挙の検証を行って頂くことが、次回の参議院比例代表選挙への第一歩。
地域の事情や、有力候補の有無、会員への浸透など、自分たちの活動と得票を分析し、会員にも、周知を！

- 1 医師会における「医政活動の重要性」の啓発。
(各種委員会等における「政治からの遮断」の解消)
- 2 医師連盟活動として、日常的な「医政活動の重要性」の訴え。
(予算や診療報酬改定等に直結していることを理解)
- 3 日医連の中央会議を増やし、地方役員等との接点を多くし、日頃からの密接な連携の構築。
- 4 各医師連盟(県・郡市区)における講演会等の集会のあり方。
- 5 医療機関廻り等について、限定的な会員だけでなく他の会員へアプローチができるように普段からの活動展開。

- 6 組織内議員の普段からの郡市区廻り。
- 7 各医師連盟(県、郡市)と地方議員との密接な関係の構築。(各種選挙支援や県政との役目等)
- 8 病院若手経営者の会の創設。
- 9 女性の会の創設。
- 10 医政活動研究会見直し。
- 11 組織内議員の活動について、目標設定と検証を行う。
- 12 組織内候補の擁立(公募方法)のあり方。
- 13 選挙手法としてSNS活用等の一層の取組み。

直近での取り組み

1. 日本医師会（医師連盟）の組織力を一層強化

➡ 今後は、日本医師会の考え方を若手医師に一方的に理解してもらおうとするのではなく、医療現場で活躍する若手の医師の意見を日本医師会が吸い上げていくような組織に。

2. 地方議会議員との連携

➡ 市町村議会・都道府県議会議員にも医療の問題点を共有いただくことも大切。地方議会議員に医師会の考え方を理解していただくような取り組みを推進。

3. 会内委員会委員の医政活動への更なる理解

➡ 会内委員会の委員が、地域において日本医師会の考え方を浸透。会内委員会においても、政治とのかかわりや必要性を話題として提供。

取り組みの例

- ① 医師会と医師連盟とのさらなる連携強化
- ② 病院をはじめとした医療機関等の若い医師への積極的なアプローチ
- ③ 地域医師会（医師連盟）と国会議員・地方議会議員との日常的な連携など

2. 日本医師連盟の活動



日本医師連盟

- 目的 日本医師会の目的を達成するために必要な政治活動を行うこと。
- 事業 ①必要な政治活動を行う。
②国会その他に代表の進出を推進する。

委員長 横倉 義武(日医会長)

他団体・
企業

医師会と医師連盟の活動(イメージ)

日常の情報交換・
お付き合い



地域の医療・保健・
福祉の向上に寄与

地域・国民

市区町村長
市区町村議員

都道府県知事
都道府県議

国会議員

★選挙支援
★各種会合の参加



郡市区医師連盟



都道府県医師連盟



日本医師連盟



郡市区医師会



都道府県医師会



日本医師会



予防接種等地域の
医療政策への
協力



行政各種会議
への参画



医療政策の提案
要望書提出



市区町村



都道府県



国・厚生労働省

政治(医政)活動について

- ・国の予算において、医療費などの社会保障関連予算の占める割合が年々増加傾向にある。一方で財政規律から過度の社会保障関係予算削減の動きがある。
- ・社会保障関連予算(診療報酬の改定率も)は、年末の予算編成過程(内閣へ政権与党から働きかけも行われる)において決定され、税制についても政治で決着する。
- ・官邸、内閣、政権与党、関係議員が相互に、重層的・複合的に関係し最終決着する。
- ・医療政策を実現するためには、中央と地方で医政活動を展開することが不可欠である。

永田町の重層的・複合的關係



<官邸>

- ・安倍晋三内閣総理大臣
- ・菅 義偉内閣官房長官
- ・西村明宏・岡田直樹
内閣官房副長官
- ・その他

<内閣>

- ・麻生太郎副総理・財務大臣
- ・加藤勝信厚生労働大臣
- ・西村康稔 全世代型社会保障改革担当
- ・小泉進次郎環境大臣
- ・自見はなこ
厚生労働大臣政務官
- ・その他

<自民党>

- ・安倍晋三総裁
- ・二階俊博幹事長
- ・鈴木俊一総務会長・岸田文雄政調会長
- ・田村憲久政調会長代理(元厚労大臣)
- ・甘利 明自民党税制調査会長
- ・河村建夫元内閣官房長官
- ・武見敬三元参議院政策審議会長
(元厚労副大臣)
- ・平口洋 厚生労働部会長
- ・羽生田俊 厚生労働部会長代理
- 社会保障制度調査会
- ・会長: 鴨下一郎(元環境大臣)
- 国民医療を守る議員の会(議員連盟)
- ・会長: 加藤勝信 衆議院議員
- ・その他

<国会>

- ・羽生田俊
参議院厚生労働委員会委員
- ・その他



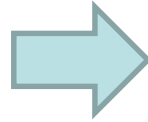
<公明党>

- ・山口那津男代表
- ・斉藤鉄夫幹事長
- ・石田祝稔政調会長
- ・高木美智代
厚生労働部会長
- ・その他

(イメージ図 2019年10月現在 敬称略)

自民党 部会での事前審査

総務会(鈴木俊一会長)了承
★自民党案として正式決定



内閣 閣議決定



国会審議(委員会・本会議)



政務調査会(岸田文雄会長)

内閣第一部会	厚生労働部会
内閣第二部会	文部科学部会
国防部会	経済産業部会
総務部会	農林部会
法務部会	水産部会
外交部会	国土交通部会
財務金融部会	環境部会

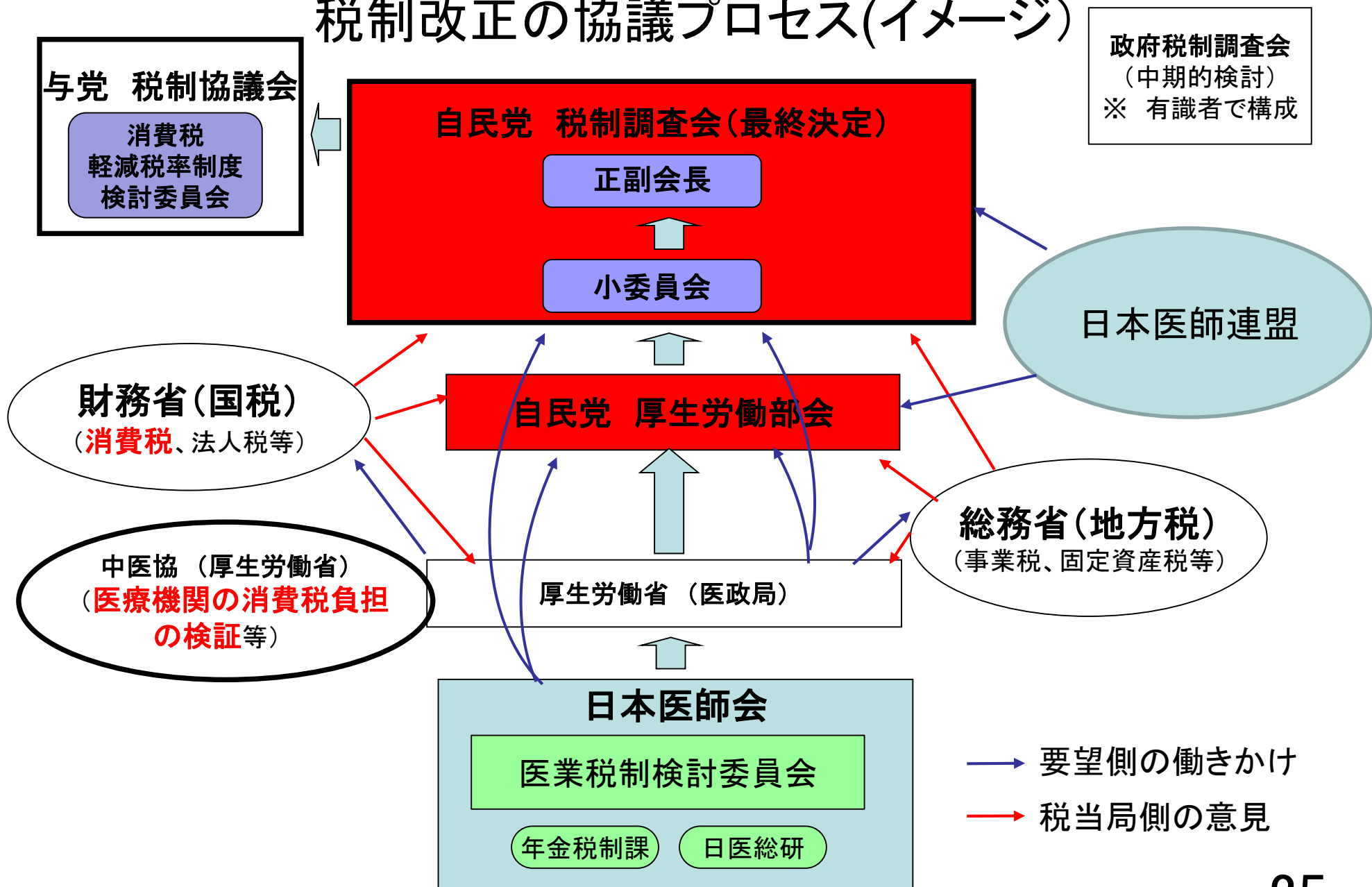
各省庁に対応し14部会

自民党所属国会議員であれば、どの部会にも自由に出席することができる。法律案への疑問点などを発言することができる。

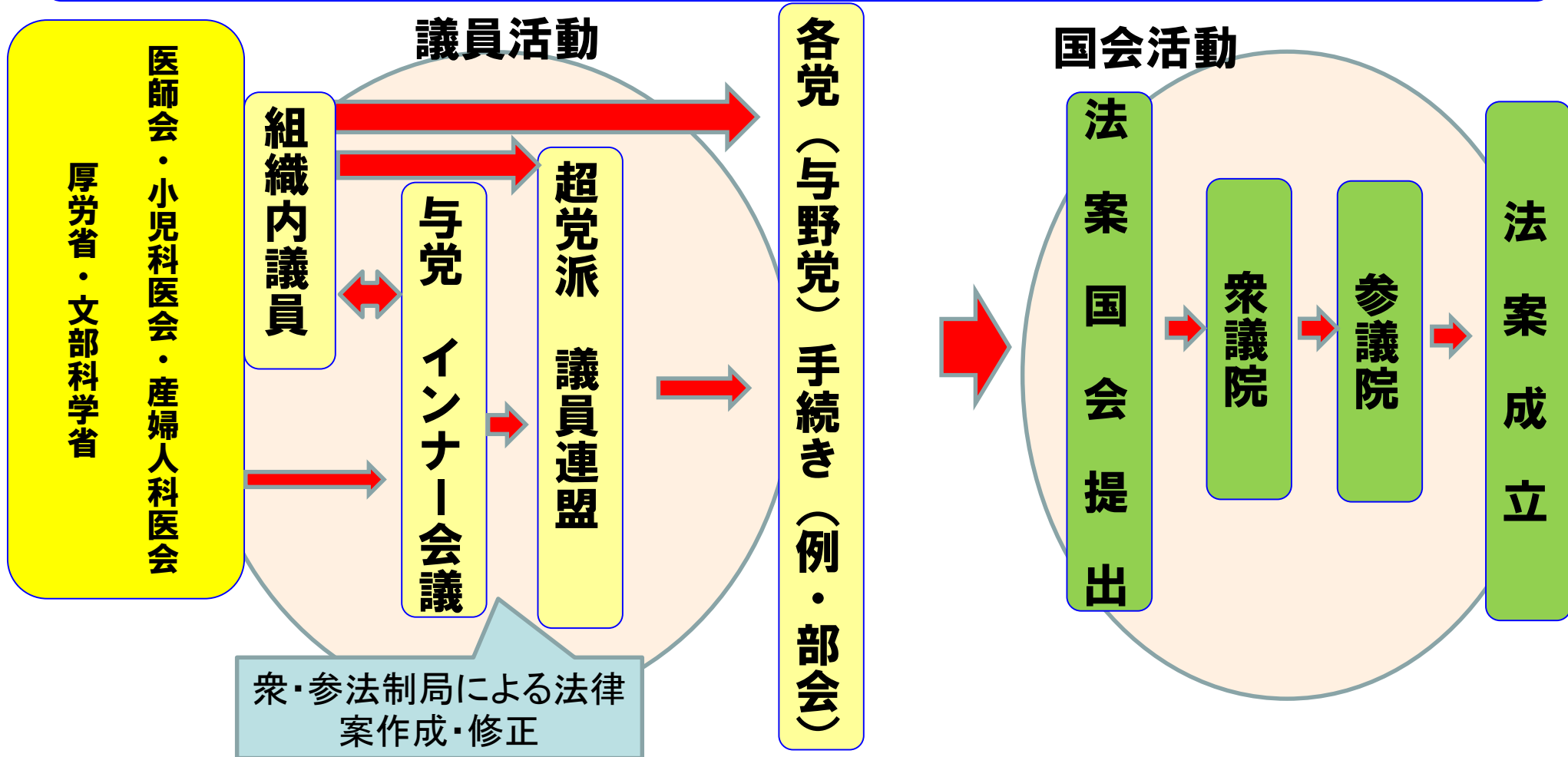
自民党 政務調査会

- 〇〇部会 (例:厚生労働部会) (調査会、PT)
- 部会長 1名 (会長、座長)
- 部会長代理 1~2名 (会長代行、座長代理)
- 副部会長 10名以上
- 出席者 自民党国会議員
- 所管省庁 (例:厚生労働省、所管が複数にまたがる場合には複数省庁)
- 関係団体 (例:日本医師会、日本看護師会)
- 関係企業 (例:製薬会社、医療機器会社)
- 学識経験者、参考人等 (例:大学教授、研究者)

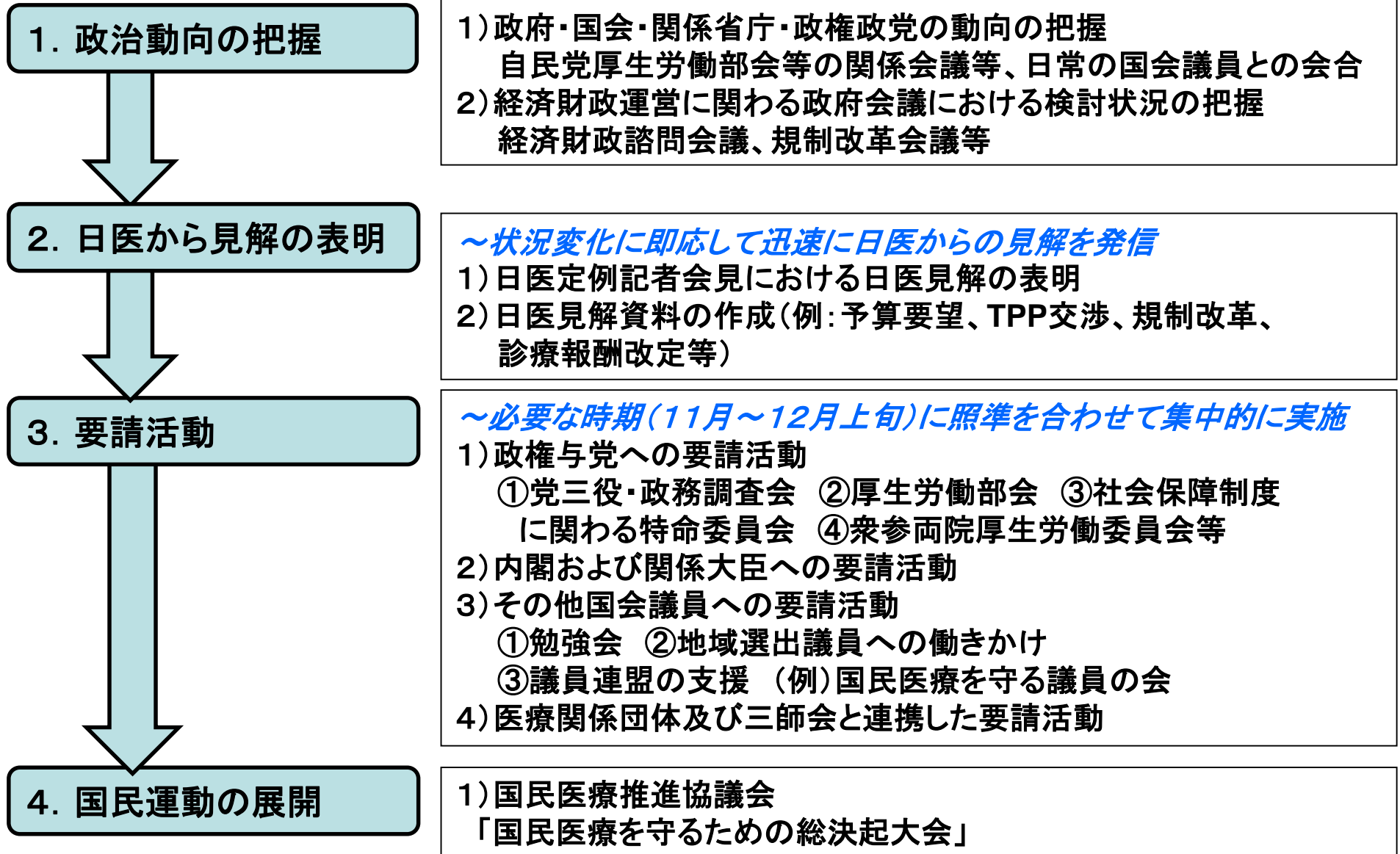
税制改正の協議プロセス(イメージ)



議員立法 成育基本法成立までの流れ（イメージ）

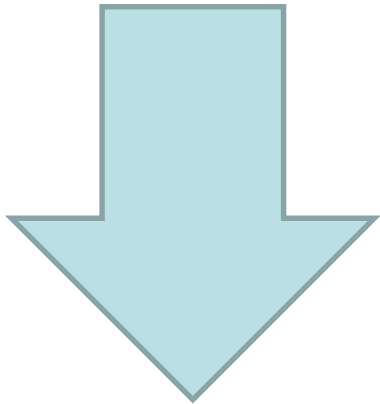


政治活動のプロセス



国会議員との日常からの意見交換

- 年末の予算・税制要望の時期だけでなく、必要に応じ日医連役員が議員会館を訪問し、国会議員との面談や朝食勉強会を通じて意見交換を行っている。
- 国会議員の政治資金パーティーに参加し、出席している議員と意見交換を行う。



今枝宗一郎議員(医師)の政治資金パーティーで挨拶する横倉日医連委員長

- ◆定期的に、国会議員と意見交換を行うことで、議員との顔の見える関係を構築。
- ◆政府・与党内の最新の議論や法案の内容、今後の方向性等の情報収集。

政策実現のための勉強会等

医師国会議員との意見交換

羽生田議員、自見議員のみならず、党派を超えた医師議員との関係強化を図っている。



カトリア会（自民党医療関係資格所持議員の会）

- 医師（衆） 鴨下一郎、富岡勉、三ツ林裕巳、今枝宗一郎、新谷正義、大隈和英、国光あやの、安藤高夫（参） 古川俊治、羽生田俊、自見はなこ
- 歯科医師（衆） 白須賀貴樹、渡辺孝一（参） 関口昌一、島村大
- 薬剤師（衆） 松本純、とかしきなおみ（参） 藤井基之、本田あきこ
- 看護師（衆） あべ俊子、木村弥生（参） 高階恵美子、石田昌宏
- 検査技師（参） 宮島喜文
- 理学療法士（参） 小川克巳
- 放射線技師（参） 畦元将吾

公明党との意見交換会

- 古屋範子 副代表
- 石田祝稔 政務調査会長
- 梶屋敬悟 元厚生労働副大臣
- 秋野公造 参議院議員（医師） など

自民党の厚生労働関係議員以外の議員との意見交換会

- 当選1～2回の議員と勉強会を開催し厚生労働関係議員以外へも医療政策について理解深めて頂いている。

医師議員一覧

【衆議院】

	氏名		政党	選挙区	当選回数
1	鴨下 一郎	70	自民党	東京13区	9
2	富岡 勉	71	自民党	比例九州	4
3	三ツ林 裕巳	64	自民党	埼玉14区	3
4	今枝 宗一郎	35	自民党	愛知14区	3
5	新谷 正義	44	自民党	広島4区	3
6	大隈 和英	50	自民党	比例近畿	2
7	国光 あやの	40	自民党	茨城6区	1
8	安藤 高夫	60	自民党	比例東京	1
9	阿部 知子	71	立憲民主党	神奈川12区	7
10	吉田 統彦	44	立憲民主党	比例東海	2
11	岡本 充功	48	国民民主	比例東海	5
12	中島 克仁	52	無所属	山梨1区	3

【参議院】

	氏名		政党	選挙区	当選回数
1	古川 俊治	56	自民党	埼玉1	3
2	羽生田 俊	71	自民党	比例区1	2
3	自見 はなこ	43	自民党	比例区28	1
4	秋野 公造	52	公明党	比例区28	2
5	熊野 正士	54	公明党	比例区28	1
6	櫻井 充	63	無所属	宮城28	4
7	足立 信也	62	国民民主	大分28	3
8	梅村 聡	45	おおさか維新	比例区1	2
9	小池 晃	59	共産党	比例区1	5
10	浜田 聡	42	N国党	比例区1	1

2019.10.23現在

※政党別 当選回数順

政党や議員連盟でのヒアリング

- 予算・税制などについて各政党からヒアリングがあり、日本医師連盟も出席し、意見を述べ、出席議員と意見交換を行い社会保障関係予算への理解を求めている。
- 個別の政策（訪日外国人の医療提供体制について、人生100年時代、成育基本法、医療基本法 など）について、自民党の部会や各政党の政策会議、議員連盟からヒアリングの要請があり、日本医師会の見解を述べ、意見交換を行う。



超党派成育基本法議員連盟で発言
(2018年7月)



自民党 予算・税制に関するヒアリング
(2018年11月)



公明党
政策要望懇談会で発言する横倉委員長
(2019年11月)

自民党青年局所属議員と日医将来ビジョン委員会 メンバーとの意見交換会

【2019年2月28日 都内】 毎年1回開催

●青年局所属議員（45歳以下の議員）と日医将来ビジョン委員会メンバーが
意見交換。横倉日医連委員長も出席。



医療政策研究会

【2019年11月12日】

第27回医療政策研究会(会長:武見敬三参議院議員)

●全世代型社会保障改革について

日本医師会から全世代型社会保障改革における問題点
(受診時定額負担など)について説明。

財務省、厚生労働省も出席し役所側の説明。
その後、日医役員と国会議員の意見交換。



2020年度概算要求要望から予算決定までの流れ

今、まさに佳境を迎えている！

2020年度予算関連

1. **診療報酬改定率(予算編成で決定)**

2. **社会保障関係予算**
(地域医療介護総合確保基金 など)

全世代型社会保障改革における
財政主導の考え方(社会保障分野)

1. 受診時定額負担の導入

2. 後期高齢者の窓口負担引き上げ

3. 薬剤自己負担の引上げについて幅広い観点からの検討

12月上中旬 財務省より各省庁へ予算内示

12月20日頃 **大臣折衝 予算案・診療報酬改定率 決定**

1月～3月 通常国会で予算案審議

3月下旬以降 予算成立

8月末

各省庁から財務省に予算の概算要求

10月～11月 **与党内での調整**

自民党「国民医療を守る議員の会」



○ 会長
加藤勝信 衆議院議員 2013年11月8日発足

○ 議連の目的
適切な財源を確保しつつ、医療水準の向上や地域医療の再生を図り、国民の期待に応える医療を実現していく。

○ 参加人数
衆議院250名、参議院87名、合計337名（自民党議員の約8割が加入）

※議連役員(敬称略 2019年5月)

▽会長＝加藤勝信▽特別顧問＝伊吹文明▽顧問＝石破茂、野田毅、尾辻秀久▽会長代行＝鴨下一郎▽会長代理＝上川陽子▽副会長＝秋葉賢也、河井克行、佐藤勉、松野博一、宮路和明、森英介、吉川貴盛、衛藤晟一、中川雅治、藤井基之、宮沢洋一▽幹事長＝武見敬三▽幹事長代行＝菅原一秀▽事務局長＝調整中▽事務局次長＝山下貴司、福岡資麿▽幹事＝今枝宗一郎、とかしきなおみ、羽生田俊、自見はなこ

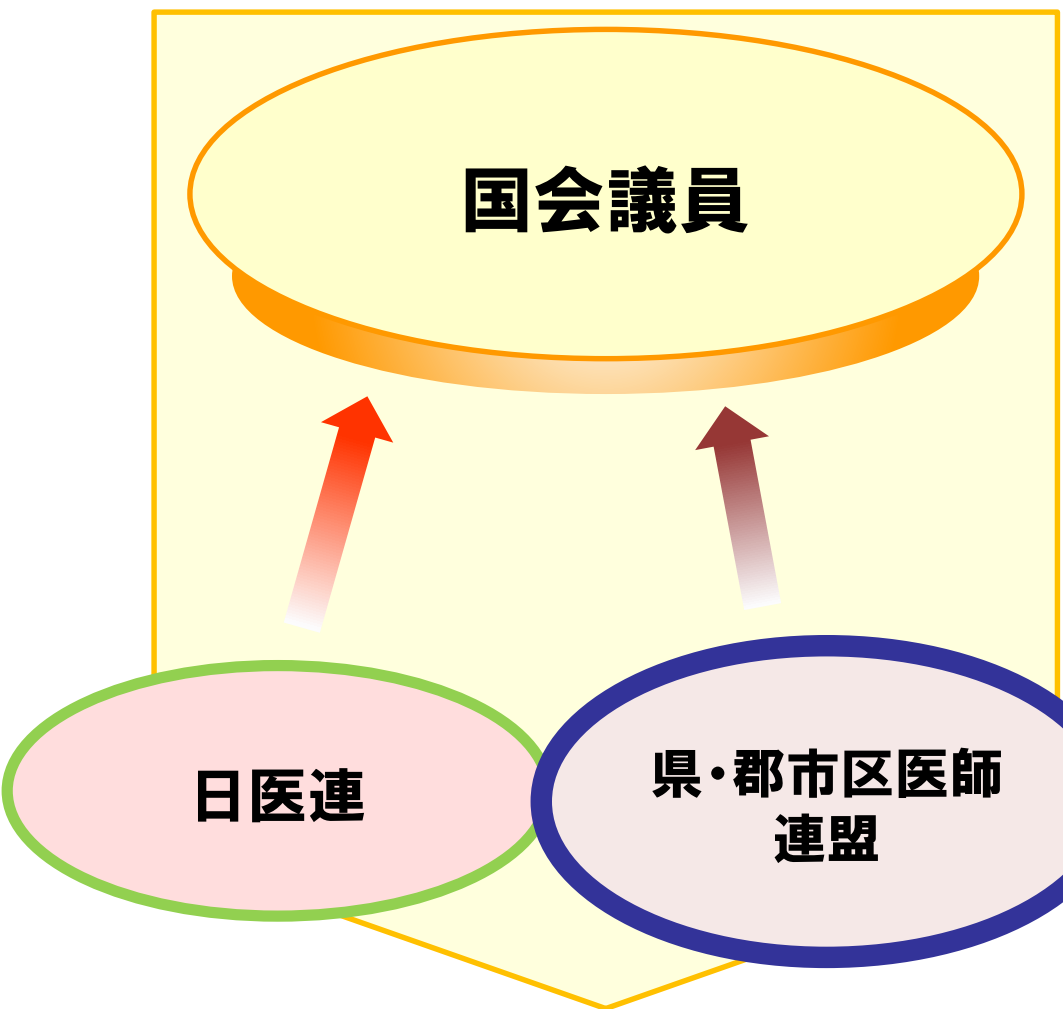


★最近の開催【2019年5月16日】
日医から国民が安心できる社会保障財源の確保について説明。

★開催予定【11月26日】
社会保障財源の適切な確保(診療報酬改定等)について。

まとめにかえて

日医連と県・郡市区医師連盟の協同での医政活動



地元での活動例

議員と顔の見える関係の構築を!

- ★医師連盟役員が、後援会会長や後援会役員に就任。
- ★地元での各種会合に必ず出席。
- ★医師会との意見交換会開催。

重要です!!

選挙支援

- 推薦状(会員に周知)・寄付(陣中見舞い)
- 個人演説会での応援弁士。
- 個人演説会へ聴衆として参加。
- 議員の医療機関への挨拶回りの実施。
(医師連盟役員も同行)
- 医療機関へのポスター掲示。
- 朝礼などで投票依頼。など

日医連(永田町)と県・郡市区医師連盟(地元選挙区)が車の両輪となり活動

多くの議員が、医師会の医療政策を理解し応援して頂ける環境へ

ご清聴ありがとうございました。



日医君LINEスタンプ できました!




日本医師会キャラクター「日医君」

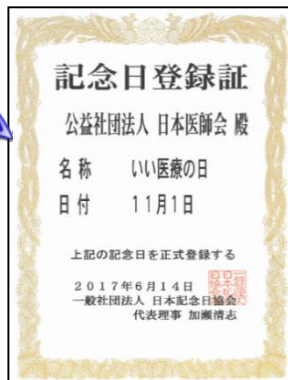
LINE STORE URL <https://line.me/S/sticker/9183104>

いい 医療の日
11月1日を
「いい医療の日」に

日医では、11月1日を「いい医療の日」と定め、より良い医療の構築に向けて、国民の皆さんと考える日とすることを提案しています。



日本医師会
Japan Medical Association



11月1日は
「いい医療の日」



日本記念日協会に
認定されました!

*<http://www.kinenbi.gr.jp/>